

平成22年の梅雨入り・明けと梅雨時期の特徴について

平成22年の梅雨入りは、沖縄地方と奄美地方では早く、九州南部から東北地方にかけては遅かった。梅雨明けは、沖縄地方と中国地方から東北地方にかけては早く、奄美地方と九州南部では遅かった。梅雨の時期の降水量(注1)は、九州南部、四国地方、近畿地方、東北地方で多く、他は平年並だった。

地方名	梅雨入り(注2)	平年	梅雨明け(注2)	平年	梅雨時期の降水量 平年比と階級(注1)
沖縄	5月6日ごろ(-)	5月8日ごろ	6月19日ごろ(-)	6月23日ごろ	97%(0)
奄美	5月6日ごろ(-)	5月10日ごろ	7月15日ごろ(+)*	6月28日ごろ	94%(0)
九州南部	6月12日ごろ(+)*	5月29日ごろ	7月20日ごろ(+)	7月13日ごろ	167%(+)*
九州北部	6月12日ごろ(+)*	6月5日ごろ	7月17日ごろ(0)	7月18日ごろ	111%(0)
四国	6月13日ごろ(+)*	6月4日ごろ	7月17日ごろ(0)	7月17日ごろ	121%(+)
中国	6月13日ごろ(+)*	6月6日ごろ	7月17日ごろ(-)	7月20日ごろ	103%(0)
近畿	6月13日ごろ(+)*	6月6日ごろ	7月17日ごろ(-)	7月19日ごろ	135%(+)
東海	6月13日ごろ(+)	6月8日ごろ	7月17日ごろ(-)	7月20日ごろ	96%(0)
関東甲信	6月13日ごろ(+)	6月8日ごろ	7月17日ごろ(-)	7月20日ごろ	101%(0)
北陸	6月13日ごろ(+)	6月10日ごろ	7月17日ごろ(-)	7月22日ごろ	94%(0)
東北南部	6月14日ごろ(+)	6月10日ごろ	7月18日ごろ(-)	7月23日ごろ	115%(+)
東北北部	6月16日ごろ(+)	6月12日ごろ	7月18日ごろ(-)	7月27日ごろ	119%(+)

(注1) 全国153の气象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月。沖縄と奄美は5~6月)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)*:かなり多い、(+):多い、(0):平年並、(-):少ない、(-)*:かなり少ない、の階級区分を表す。

(注2) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*:かなり遅い、(+):遅い、(0):平年並、(-):早い、(-)*:かなり早い、の階級区分を表す。

※階級区分は、1971~2000年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%		33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い	平年並	早い
	かなり遅い		かなり早い
降水量	少ない	平年並	多い
	かなり少ない		かなり多い

※気象庁では、毎年、春から夏にかけての実際の天候経過を総合的に検討し、各地の梅雨入りと梅雨明けの確定及び梅雨時期の特徴のまとめを行っている。